



令和5年度 第2四半期（令和5年7月1日～令和5年9月30日）

環 境 放 射 線 管 理 報 告 書

2023再放発第32号

令和5年11月9日

原子力規制委員会 殿

住所

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸

字沖付4番地108

名称及び代表者の氏名

日本原燃株式会社

代表取締役社長 社長執行役員

増田 尚宏

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び使用済燃料の再処理の事業に関する規則第21条第2項の規定により次のとおり報告します。

工場又は 事業所	名 称	再処理事業所
	所在地	青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸

測定対象	採取		測定		測定値 ^{注1}			単位	備考		
					最小～最大	比較対照	平常の変動幅 ^{注1,注2}				
										最小～最大	最小～最大
空間放射線	線量率	敷地内9地点	連続	連続	モニタリングポスト	14～53		17±11 (7～118)	nGy/h	・1時間平均値を示す。	
		敷地外3地点			モニタリングステーション	19～55		20±12 (8～85)			
空間放射線	積算線量	敷地内9地点 敷地外14地点	連続	1回/3月	γ線	83～108	84	93±24 (73～113)	μGy/91日	・測定値は、91日当たりに換算した値を示す。 ・設置期間 敷地内：令和5年6月21日～令和5年9月20日 敷地外：令和5年6月22日～令和5年9月21日	
		敷地内9地点			連続	連続	全α放射能	6.2			
空気	浮遊じん	敷地外3地点	連続	1回/週	全α放射能	*～0.16		*～0.23	mBq/m ³		
		敷地外3地点			全β放射能	*～0.56		*～1.1			
		敷地内9地点 敷地外3地点	連続	1回/3月	¹⁰⁶ Ru	ND		ND	mBq/m ³		
		敷地外3地点			Pu(α) ^{注3}	ND		ND			
	気体状β放射能濃度	敷地外3地点	連続	連続	⁸⁵ Kr	ND		ND	kBq/m ³	・1時間平均値を示す。	
	ヨウ素	敷地外3地点			¹³¹ I	ND		ND			mBq/m ³
	大気中湿分	敷地外3地点	連続	1回/月	³ H	ND		ND	mBq/m ³		
飲料水	敷地外4地点	1回/3月			1回/3月	³ H	ND				ND
			⁹⁰ Sr	ND			ND				
			¹⁰⁶ Ru	ND			ND				
			¹³⁷ Cs	ND			ND				
			Pu(α) ^{注3}	ND			ND				
陸土	表土	敷地内1地点 敷地外3地点	1回/年	1回/年	⁹⁰ Sr	0.6～3.2	2.2	0.7～4.3	Bq/kg・乾		
					¹⁰⁶ Ru	ND	ND	ND			
					¹²⁹ I	ND	ND	ND			
					¹³⁷ Cs	8～19	7	7～25			
					Pu(α) ^{注3}	0.29～0.87	0.34	0.23～0.98			
					²⁴¹ Am	0.11～0.30	0.10	0.08～0.38			
					²⁴⁴ Cm	ND	ND	ND			
陸土	湖底土	敷地外1地点	1回/年	1回/年	⁹⁰ Sr			ND	Bq/kg・乾	・第3四半期報告予定	
					¹³⁷ Cs			ND～5			
					Pu(α) ^{注3}			0.73～1.2			
					²⁴¹ Am			0.30～0.52			
					²⁴⁴ Cm			ND			
陸上植物	精米	敷地外3地点	1回/年	1回/年	¹⁴ C	0.22		0.22～0.24	Bq/g・炭素		
					¹⁰⁶ Ru	ND		ND			
					Pu(α) ^{注3}	ND		ND			
	根	菜	敷地外2地点	1回/年	1回/年	¹⁰⁶ Ru	ND		ND	Bq/kg・生	・今期対象：パレイシヨ(1地点) ・第3四半期報告予定 対象：ナガイモ(1地点)
						Pu(α) ^{注3}	ND		ND		
	葉	菜	敷地外1地点	1回/年	1回/年	¹⁰⁶ Ru			ND	Bq/kg・生	第3四半期報告予定 対象：ハクサイ
Pu(α) ^{注3}								ND			
畜産物	牛乳	敷地外4地点	1回/3月	1回/3月	¹⁰⁶ Ru	ND		ND	Bq/L		

注1) ND: 定量下限値未滿を示す。また、測定値が計数誤差の3倍以下の場合検出限界以下とし、「*」で示す。

注2) 平常の変動幅は、次のとおり設定した。

- ・空間放射線(線量率及び積算線量)については、平成30年度から令和4年度までの5年間に於ける平均値±(標準偏差の3倍)に設定した。また、下段の()に最小値から最大値の幅を示す。
- ・空気(浮遊じんの全α放射能及び全β放射能(敷地外3地点)、気体状β放射能濃度、ヨウ素)については、平成30年度から令和4年度までの5年間に於ける測定値の最小値から最大値の幅で設定した。また、空気(浮遊じんの全α放射能及び全β放射能(敷地内9地点))については、平成30年度から令和4年度までの5年間に於ける測定値(1時間平均値の最大値)で設定した。
- ・その他については、環境試料の種類ごとに平成25年度から令和4年度までの10年間に於ける測定値の最小値から最大値の幅で設定した。

注3) Pu(α): ²³⁸Puと^{239,240}Puの合計値を示す。

測定対象	採取		測定		測定値 ^{注1}		平常の変動幅 ^{注1,注2}	単位	備考	
					最小～最大	比較対照				
	採取点	頻度	頻度	対象	最小～最大	最小～最大	最小～最大			
海	水	むつ小川原港 港湾区域内 むつ小川原港港湾 区域北側境界付近 むつ小川原港港湾 区域南側境界付近	1回/3月	1回/3月	³ H	ND		ND	Bq/L	
					⁹⁰ Sr	ND		ND		
					⁶⁰ Co	ND		ND		
					¹⁰⁶ Ru	ND		ND		
					¹³⁴ Cs	ND		ND		
					¹³⁷ Cs	ND		ND		
					¹⁴⁴ Ce	ND		ND		
					¹⁵⁴ Eu	ND		ND		
Pu(α) ^{注3}	ND		ND	mBq/L						
⁹⁰ Sr			ND		Bq/kg・乾	・報告対象:第1.3四半期				
⁶⁰ Co			ND							
¹³⁴ Cs			ND							
¹³⁷ Cs			ND							
¹⁴⁴ Ce			ND							
¹⁵⁴ Eu			ND							
Pu(α) ^{注3}			0.08～0.75							
²⁴¹ Am			ND～0.32							
²⁴⁴ Cm			ND							
海産物	魚類	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3月	1回/3月	³ H	ND		ND	Bq/L	・今期対象:ヒラメ
					¹⁰⁶ Ru	ND		ND		
					Pu(α) ^{注3}	ND		ND		
海産物	貝類	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3月	1回/3月	¹⁰⁶ Ru	ND		ND	Bq/kg・生	・今期対象:ムラサキインコガイ
					Pu(α) ^{注3}	ND		ND～0.006		
					¹⁰⁶ Ru	ND		ND		
Pu(α) ^{注3}	ND		ND～0.006							
漁網	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3月	1回/3月	γ線表面線量率	ND		ND	nGy/h		
				β線吸収線量率	ND		ND～36			

注1) ND: 定量下限値未満を示す。

注2) 平常の変動幅は、環境試料の種類ごとに平成25年度から令和4年度までの10年間における測定値の最小値から最大値の幅で設定した。

注3) Pu(α): ²³⁸Puと^{239,240}Puの合計値を示す。

別表 定量下限値一覧

測定項目		単位	定量下限値	
空 気	浮遊じん	¹⁰⁶ Ru	mBq/m ³ 0.2	
		Pu(α)	²³⁸ Pu mBq/m ³ 0.0002 ^{239,240} Pu mBq/m ³ 0.0002	
		気体状β放射能濃度	⁸⁵ Kr kBq/m ³ 2	
	ヨウ素	¹³¹ I mBq/m ³ 0.2		
大気中湿分		³ H mBq/m ³ 40		
飲料水		³ H	Bq/L 2	
		⁹⁰ Sr	mBq/L 0.4	
		¹⁰⁶ Ru	mBq/L 60	
		¹³⁷ Cs	mBq/L 6	
陸 土	表土	Pu(α)	²³⁸ Pu mBq/L 0.02 ^{239,240} Pu mBq/L 0.02	
			⁹⁰ Sr	Bq/kg・乾 0.4
			¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・乾 20
			^{129, *1} I	Bq/kg・乾 5
			¹³⁷ Cs	Bq/kg・乾 3
	湖底土	Pu(α)	²³⁸ Pu Bq/kg・乾 0.04 ^{239,240} Pu Bq/kg・乾 0.04	
			²⁴¹ Am	Bq/kg・乾 0.04
			²⁴⁴ Cm	Bq/kg・乾 0.04
			⁹⁰ Sr	Bq/kg・乾 0.4
			¹³⁷ Cs	Bq/kg・乾 4
陸上植物	精米	¹⁴ C	Bq/g・炭素 0.005	
		¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・生 4	
		Pu(α)	²³⁸ Pu Bq/kg・生 0.002 ^{239,240} Pu Bq/kg・生 0.002	
	根菜		¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・生 4
			Pu(α)	²³⁸ Pu Bq/kg・生 0.002 ^{239,240} Pu Bq/kg・生 0.002
	葉菜		¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・生 4
			Pu(α)	²³⁸ Pu Bq/kg・生 0.002 ^{239,240} Pu Bq/kg・生 0.002
	畜産物	牛乳	¹⁰⁶ Ru	Bq/L 4

*1:放射化学分析法

測定項目		単位	定量下限値
海 水		³ H	Bq/L 2
		⁹⁰ Sr	mBq/L 2
		⁶⁰ Co	mBq/L 6
		¹⁰⁶ Ru	mBq/L 60
		¹³⁴ Cs	mBq/L 6
		¹³⁷ Cs	mBq/L 6
		¹⁴⁴ Ce	mBq/L 30
		¹⁵⁴ Eu	mBq/L 10
		Pu(α)	²³⁸ Pu mBq/L 0.02 ^{239,240} Pu mBq/L 0.02
		海 底 土	
⁶⁰ Co	Bq/kg・乾 3		
¹³⁴ Cs	Bq/kg・乾 3		
¹³⁷ Cs	Bq/kg・乾 3		
Pu(α)	²³⁸ Pu		Bq/kg・乾 0.04
	^{239,240} Pu		Bq/kg・乾 0.04
	²⁴¹ Am		Bq/kg・乾 0.04
	²⁴⁴ Cm		Bq/kg・乾 0.04
海産生物		³ H*2	Bq/L 2
		¹⁰⁶ Ru	Bq/kg・生 4
		Pu(α)	²³⁸ Pu Bq/kg・生 0.002 ^{239,240} Pu Bq/kg・生 0.002
漁 網		γ線表面線量率	nGy/h 10
		β線吸収線量率	nGy/h 30

*2:魚類の自由水中トリチウム

(参考資料)

環境放射線管理報告書（令和5年度第2四半期）における
空間放射線（線量率）の測定結果について

表-1 に示すとおり、敷地内 9 地点（モニタリングポスト）及び敷地外 3 地点（モニタリングステーション）における空間放射線（線量率）のうち、平常の変動幅を外れた測定値は、すべて降雨等に伴う空気中の天然放射性核種に起因する自然変動であった。

表-1 空間放射線（線量率）測定結果 (nGy/h)

測定			測定値		平常の変動幅を 外れた時間数 (単位:時間)	平常の変動幅を 外れた原因と時間数 (単位:時間)		平常の変動幅 (注1)	アクティブ試験 開始前の測定結果 (注2)
測定点	項目	頻度	測定地点	最小～最大		降雨等 (注3)	その他	平均値±3σ (最小～最大)	平均値±3σ (最小～最大)
敷地内 9地点	γ線	連続	MP-1	15～50	27	27	0	17±11 (7～118)	17±11 (7～81)
			MP-2	17～50	37	37	0		
			MP-3	14～53	36	36	0		
			MP-4	16～53	39	39	0		
			MP-5	15～46	30	30	0		
			MP-6	15～49	29	29	0		
			MP-7	15～52	34	34	0		
			MP-8	15～53	33	33	0		
			MP-9	16～50	35	35	0		
敷地外 3地点	γ線	連続	MS 老部川	19～55	28	28	0	20±12 (8～85)	20±12 (7～93)
			MS 二又	20～52	33	33	0		
			MS 室ノ久保	19～49	29	29	0		

(注1) 平常の変動幅は平成30年度から令和4年度までに実施した測定結果の平均値±(標準偏差の3倍)を設定し、下段の()に最小値～最大値を示す。

(注2) アクティブ試験開始前の測定結果は平成7年度から平成17年度までに実施した測定結果を示す。

(注3) 天然放射性核種に起因して、降雨及び降雪時には線量率が一時的に上昇するとともに、積雪時には線量率が低下することで平常の変動幅を外れることがある。